

日介社推発 第6号
令和4年10月吉日

都道府県介護福祉士会
会長 各位

公益社団法人 日本介護福祉士会
会長 及 川 ゆりこ
(公 印 省 略)

令和4年度社会福祉推進事業
在留資格「介護」の実態把握及び活躍支援に向けた調査研究事業
アンケート調査について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当会の事業運営にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当会では厚生労働省より令和4年度社会福祉推進事業「在留資格「介護」の実態把握及び活躍支援に向けた調査研究事業」を受託し、調査事業を実施しております。

本調査では、介護現場における外国人介護人材のコアとしての活躍が期待される、在留資格「介護」の方の実態把握を目的としております。平成29年9月に施行された在留資格「介護」の在留者数は3,794名（令和3年12月末時点）。これまでの養成施設ルートに加え、令和2年4月より実務経験ルートが追加されたこと等により、今後も増加が見込まれる状況にあります。在留資格「介護」による在留者は、外国籍を有する介護福祉士国家資格の有資格者として、今後の介護現場における外国人介護人材のコアとしての活躍も期待されることから、まずは現状の実態把握を行うとともに、その結果も踏まえ、より一層の活躍支援に向けた方策を検討していくことが必要です。得られたデータは、在留資格「介護」で就労される方々の、更なる活躍に向けた方策を検討する際の基礎資料といたします。

つきましては、本調査・研究事業の円滑な実施のため、貴会会員様に対し、標記アンケート調査の周知及び回答への協力依頼を行っていただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

【担当】公益社団法人 日本介護福祉士会
国際介護人材支援チーム 仁藤・友次・越智・金子
Mail : intl-support@jaccw.or.jp
Tel : 03-5615-9295 (平日 10:00~17:00)

【調査概要】

1. 調査名

「在留資格「介護」の実態把握及び活躍支援に向けた調査」

2. 調査対象

- ① 施設長・管理者（施設の状況に精通している方）
- ② 在留資格「介護」の方

※①と②は調査票が異なります。

※①は、在留資格「介護」が就労していない場合であっても、該当する設問のみ回答いただけますようお願いいたします。

3. 調査時期

令和4年11月1日（火）から11月30日（水）

4. 調査方法

全国の施設・事業所あてに回答依頼文を配布し、回答者はWEBから回答

5. 主な調査項目

- ① 施設長・管理者
 - ・ 施設・事業所概要
 - ・ 外国人介護職員の状況
 - ・ 在留資格「介護」の方の状況
 - ・ 在留資格「介護」の方の活躍状況
 - ・ 在留資格「介護」の方への支援内容
 - ・ 在留資格「介護」の方の受入れによる職員の変化
- ② 在留資格「介護」の方
 - ・ 基本情報
 - ・ 活躍状況
 - ・ 必要なサポート
 - ・ 今後の意向

6. 留意事項

- ・ この調査に協力いただけないことによる不利益はございません。
- ・ 本調査の結果につきましては、令和5年4月以降、当会のホームページ等にて公開されますが、アンケート調査結果は、回答施設・事業所ので承なく施設・事業所名や個人名が公表されることはございません。
- ・ いただきました回答により、別途ヒアリング調査を依頼する可能性がございます。その場合は、文書やメール等で該当施設・事業所に依頼させていただきます。

以上

<施設・事業所様向けの資料構成> ※本依頼状は含まれません。

- ・ アンケート調査ご協力をお願い（日本介護福祉士会）
- ・ アンケート調査ご協力をお願い（厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室）
- ・ 別添1 ①施設・事業所票 回答方法のご案内
- ・ 別添2 ②（在留資格「介護」で就労している方向け）アンケート調査へのご協力をお願い、回答方法のご案内